



駒本の力

駒本小学校（家）

教育活動紹介便り

校長 田中 克昌

NO. 15

平成27年12月15日

「どの子ども伸ばす、駒本の教育」 4

【視覚化の取組】

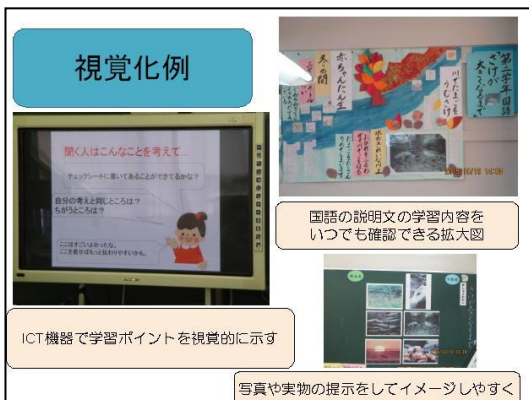
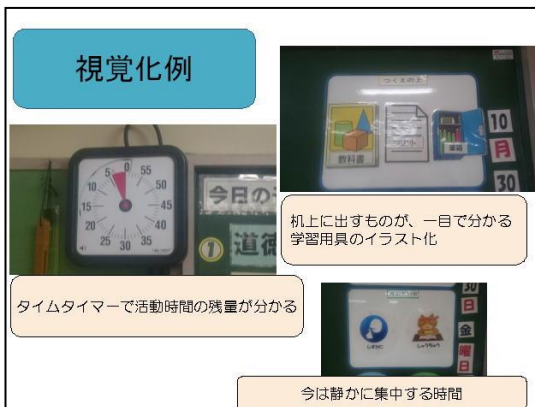
視覚化の取組とは、視覚情報と音声情報の併用による分かりやすい指示や説明を行うということです。私たち教員はどうしても音声情報に頼りがちです。それは、簡単だからです。しかし、音声は一過性のもので情報を発信したと同時に消えていきます。全ての子が音声情報をしっかりと受け止めることができるのであればいいのですが、そうはいきません。私は年齢とともに音声情報の獲得に弱くなってきています。そのためなるべくラジオを聞くようにしているぐらいです。また、音声情報より視覚情報優位の子どもも数多くいます。さらに、音声情報だけに頼ると、どうしても教員の発語量が増え、分かりづらい話をたくさんするようになってしまいます。あげくのはてに、何回も同じ事を言ったり、最後はしっかり聞きなさいと叱ったりするようになってしまいます。10分も15分も活動の前に説明をしていたのでは、子どもたちの学習活動の量と時間を保証することができませんし、子どもたちの意欲も低下してしまいます。教員の発語量を減らし、効果的・効率的に焦点化された指示や説明を行っていくためには、どうしても視覚情報を併用する必要

があります。

視覚化の具体的な方法としては、以下のようなものがあります。

1. 活動時間の視覚化（タイムタイマーの活用）
活動時間の残り時間を量として捉えることができます。
2. 指示の視覚化（学習用具や活動内容のイラスト）
何を用意し、何をするのかが分かります。
4. 学習活動の視覚化（ICT機器の活用）
5. 学習ポイントの視覚化（学習の視点を示す）
どんな点について考えるかを示します。

板書の工夫は全ての視覚化において共通している部分です。ICT機器の活用も重要なポイントです。ICT機器の活用については、多くの先生方が日常的に活用しています。文京区も来年度には教室に電子黒板が導入されます。板書やカードやシートの掲示、電子黒板での情報提示とそれぞれのメディアの利点を生かした活用の仕方をしっかりと身に付け、効果的に利用していきたいものです。 <続く>



校歌の3番を考えました

5年1組の子どもたちが、道徳の時間に「愛校心」というテーマで校歌の3番の歌詞を考えました。その作品を紹介します。

ここから
心にひびく あいさつを
みんなに届ける わたしたち
駒本小学生
環境守るよ みんなの手で
明るい毎日 作るため
力をあわせ 進もうよ



元気だな
友情たくさん やさしい子
せっきょくてきに がんばる子
駒本小学生
光かがやく 学校の希望
全体が黄色に つつまれる
さくらがかおる ピンクの色に



おごそかに
楽器奏でる 伝統を
理想と誇る わたしたち
駒本小学生
伝統はげんで 守り受け継ぐ
明るい未来を つくるため
校歌と共に 歩もうよ



にぎやかな
声が聞こえる 学舎で
活気にみちてる わたしたち
駒本小学生
あいさつあふれる 学校で
大きな声で こんにちは
今日もみんな えがおだよ



にぎやかな
朝から聞こえる 美しい
音色をかなでる わたしたち
駒本小学生
ひびきわたる この曲を
みんなの耳に とどけるよ
残そういつも 思い出に



あいさつを
みんなしている 良いところ
前を進む わたしたち
駒本小学生
光かがやく この学校
外で遊び 中で学ぶ
わらおういつも 楽しもう



にこやかに
情熱もって すごそうよ
なんーにだって まけないぞ
駒本小学生
愛の深まる あいさつで
力をつけて とりくもう
自然のもとで のびやかに



愛はアイ(I)から始まる

愛情はアイ(I)私から始まります。まずは、私は自分をそして人を大切にします。そして、マイ(my)私のと発展します。私の家族、私の友達、私の学校となっていきます。私の大好きな誇れる学校である駒本小学校を自分たちの手でさらに素敵な学校にしていきたいという想いです。